

2023年3月期第1四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: モバイルの地域別の市場動向を教えてください。

A1: アジア市場は好調を維持しています。欧州市場も回復基調で、米国市場も次世代チップセットや端末の開発需要が好調です。Cバンドに関する建設需要はまだ立ち上がっておらず、今後に期待しています。ミリ波についてはFWA (Fixed Wireless Access)を軸に計測需要が増加しています。

Q2: 1Qの通信計測における上海ロックダウンの影響を教えてください。

A2: 受注および売上において大きな影響はなく、前年度末に上海税関にて通関が滞っていた状況は解消し、概ね1Qに売上計上されました。現在はほぼ正常に戻っています。

Q3: PQAの1Qの営業赤字の要因は何か？ 通期計画に影響は無いのか？

A3: 米国での売上は好調でしたが、上海ロックダウンの影響により中国の売上が計画を下回ったこと、および販促活動の強化による販促費の増加や部品調達費用の増加により営業赤字となりました。2Q以降、トップラインを上げることで通期計画の達成を目指します。

Q4: ネットワーク関連需要が好調となっている背景を教えてください。

A4: 北米、アジア市場を中心に、400G/800Gに向けた投資に支えられ、データセンター向けの測定器需要が好調に推移しています。

Q5: 税引前利益が営業利益よりも大きいですが、その理由を教えてください。

A5: 金融収益に含まれている為替差益が税引前利益を押し上げた主な要因です。為替差益は、外貨建て債権・債務において発生しますが、この1Qは特にドル建て債権で為替差益を計上しました。